

## 令和6年度練馬区災害医療運営連絡会・第1回専門部会 会議概要

- 1 日時 令和6年8月28日（水）午後7時00分～8時00分
- 2 形式 Web会議
- 3 出席 近藤委員、酒向委員、黒田委員、小田委員、江原委員、野村委員、光定委員、猪俣委員、柳澤委員、内田委員（地域医療課長）、吹野委員（危機管理課長）、佐藤委員（大泉保健相談所長）  
欠席 伊藤委員
- 4 公開可否 非公開（Web会議のため）
- 5 次第
  - 1 開会
  - 2 議題
    - (1) 令和6年度検討課題
      - ・「医療救護班等活動マニュアル」の改定について
      - ・その他（委員提案事項など）
    - (2) 練馬区医療救護カレンダー2025（案）について
  - 3 報告事項
  - 4 その他
  - 5 次回日程
- 6 資料
  - 資料1-1 医療救護所における医療救護班等活動マニュアルの改定について
  - 資料1-2 医療救護所における医療救護班等活動マニュアル 本編（案）
  - 資料1-3 医療救護所における医療救護班等活動マニュアル 資料編（案）
  - 資料1-4 ご意見・ご質問シート
  - 資料2 練馬区医療救護カレンダー2025（案）
  - 資料3 報告事項まとめ
- 7 事務局 練馬区地域医療担当部地域医療課管理係  
電話 03-5984-4673（直通）

## 会議の概要

---

### 1 開会

(部会長)

ただいまから令和6年度練馬区災害医療運営連絡会・第1回専門部会を開催する。

【委員自己紹介】

### 2 議題

(1) 「医療救護班等活動マニュアル」の改定について

【資料1-1～1-3について事務局から説明】

(部会長)

過去に当専門部会で検討したマニュアルの改定となる。事務局から説明のあったとおり、今日から約一か月を意見等の募集期間とさせていただく。現時点で何か質問や意見はあるか。

(委員)

ご意見・質問シートのエクセルデータは送付してあるのか。

(事務局)

本会議終了後に案内を送付させていただく。

(委員)

OTC医薬品の使い方について、マニュアルに記載がない。OTC医薬品の活用によって、医師等の負担軽減につながるのではないかと思う。

(事務局)

具体的な内容等について、薬剤師会の先生方のご意見を伺う機会をいただきたい。

(2) その他（委員提案事項など）

(部会長)

先ほどは事務局からの提案事項を説明させていただいた。各委員から提案事項や意見等はあるか。

(委員)

災害時の情報通信方法になっている衛星携帯電話について質問したい。災害拠点病院や災害拠点連携医療機関には、衛星携帯が配備されているが、これは必須で所持しなくてはいけない物なのか？

(事務局)

衛星携帯電話の配備の考え方は二通りある。災害拠点病院、災害拠点連携病院では、衛星電話は指定条件になっているため、病院が配備しなければならないものになる。一方で、一部の診療所においては、区が独自に災害医療機関に指定しているため、区の負担で配備している。

(委員)

衛星携帯を配備している複数病院から、現在の衛星携帯は通信ができない「繋がらない衛星携帯」のため、新しい機器への更新をしていただきたい。という意見がある。区の見解を伺いたい。

(副部会長)

衛星携帯電話の通信が芳しくないという状況は区健康部からの情報で認識している。能登半島地震では、衛星通信手段として、スターリンクの有用性が話題となった。今後、災害時の実効性の高い通信手段の確保を検討していきたい。

(委員)

明日、災害は発生した場合、災害拠点連携病院はすべて使えないと聞いており、それで良いのか？  
災害拠点病院の衛星携帯電話の利用状況を伺いたい。

(委員)

災害拠点病院ではDMATを設置する必要があり、DMATの訓練等でも問題なく使えている。

(委員)

衛星携帯電話は周辺環境の影響を受けるため、「繋がらないのではなく、繋がりにくい場所がある」というのが、正しい認識になる。改善は必要と考えるが、衛星携帯電話に以外にも、EMISやLINE WORKSなどの様々な通信手段の確保を進めている現状がある。

(委員)

災害拠点病院が使えているのに、連携病院が使えないのは問題であり、区はそれを認識したうえで対策を進めているものと考えていたが、事実との乖離を感じた。副部会長の見解を伺いたい。

(副部会長)

昨年度からこのお話は伺っており、早急な対応が必要であること重く受け止めている。予算編成との関係もある中、迅速に対応できるように検討していきたい。

(委員)

医療救護所倉庫にある備蓄医薬品について、昨今の夏の気温を考慮すると、保冷庫に入れたほうがよい医薬品が複数ある。改善を検討いただきたい。

(事務局)

現在の医療救護所倉庫には、医薬品の保管用に保冷庫と冷蔵庫を1台ずつ設置しているが、すでに冷蔵管理が必要な医薬品で満杯のため、新たなに冷蔵管理の医薬品が増える場合、保冷庫の増設が必要となる。予算等の都合があるため、即答はできないが、改善する方向で検討していきたい。

(委員)

医療救護所倉庫の鍵管理は学校に委任されているが、学校訪問時、副校長が不在だと鍵の保管場所が分からない事例があった。副校長以外にも鍵の所在を共有してもらうように周知徹底をお願いしたい。

(事務局)

区にも報告があり、事情は把握している。区から改めて各学校に依頼する。

(委員)

災害時に医療救護所に参集される登録看護師の登録状況を知りたい。どこかで公開しているのか。

(事務局)

区公式ホームページで、学校ごとの登録者数を公開している。

(委員)

医療救護所訓練の実施方法の変更について、近年実施している新しい訓練方式の良いところも理解しているが、コロナ以前に実施していた方式での開催を検討していただきたい。

(事務局)

昨年の医療救護所訓練参加者アンケート等でも同様の意見をいただいている。訓練の実施方法は、災害拠点病院の先生と相談しながら検討しているが、現状では新しい方式が最良と考えている。今年度は、この後別の資料で報告するが、新方式で実施をさせていただく。

一方で、コロナ以前の訓練方式の良い部分もあるので、例えば、新方式の訓練を年2回実施、旧来の方式を年1回実施など、改善を検討していきたい。

## (2) 練馬区医療救護カレンダー2025 (案) について

【資料2について事務局から説明】

(部会長)

何か質問や意見はあるか。

【意見なし】

## 3 報告事項

【資料3-1～3-2について事務局から説明】

(部会長)

何か質問や意見はあるか。

【意見なし】

## 4 その他

(部会長)

全体を通して、委員から報告・質問等はあるか。

(委員)

毎年、東京都と区部が協同で大規模な訓練を実施している。今年は板橋区で実施すると聞いているが、来年あたりは練馬区が担当になるのではないか。把握している情報があれば、共有いただきたい。

(事務局)

現時点で把握している情報はないが、都に確認し、なるべく早く共有させていただく。

(委員)

要望になるが、四師会の医療従事者用に登録看護師のような写真付きの登録カードの導入を検討いただきたい。

(部会長)

区では医療従事者の身分や役割を明確にするためにビブスを備蓄している。今年度中に、より使いやすいビブスへの更新を予定している。

(委員)

3点の改善を提案する。

- ①会議資料の電子ファイルの事前共有をお願いしたい。
- ②LINE WORKSのさらなる活用の促進を進めていただきたい。
- ③災害時の受援体制の整備を検討いただきたい。

(部会長)

①②について

ご指摘の件、承知した。改善を図りたい。

③について

区全体の課題となるため、関係部署と検討を進めていきたい。また、必要に応じて、委員にご意見をいただきたい。

(委員)

医療救護所の役職の一つにある「統括医」は事前に指定しているのか。

(事務局)

統括医の事前指定はない。医療救護所に参集した医師の中から決定していただく。

(委員)

医療救護所に医師が参集できないことは想定しているのか。

(事務局)

望ましい事例ではないが、最悪のケースとしては想定している。

(委員)

10か所の医療救護所運営の総括は誰がするのか。

(事務局)

区役所に設置する災害対策健康部が統括者となる。具体的には、災害対策健康部に参集する災害医療コーディネーター、災害薬事コーディネーターと区が協議をしながら進めていく体制となっている。

(委員)

医療救護所と災害対策健康部は、確実に通信ができるように設備は整っているのか。

(副部会長)

医療救護所を設置する区立小中学校には、専用通信回線の無線等を配備している。そのため、医療救護所と災害対策健康部との通信は、一般の通信回線が使えない状況でも連絡がとれる体制になっている。

(委員)

医師以外にもトリアージをする人員を想定しているのか。

(委員)

医師の参集者数が少ない状況も想定されるため、医療救護所訓練では、医師以外にも歯科医師、薬剤師、柔道整復師、看護師を対象にトリアージを実践する訓練を行っている。

(委員)

災害時、広い駐車場を持つ病院には、傷病者が集中してしまうのではないか。このような状況を想定して訓練を実施しているが、各委員の見解を伺いたい。

(委員)

起こり得ると考える。病院機能の維持も必要なため、可能な範囲で対応いただきたい。実際には、病院に患者が集中し、混乱することが想定される。そのため、軽症者は医療救護所に移動していただく流れをとる必要がある。

## 5 練馬区災害医療運営連絡会の日程について

(部会長)

今年度の災害医療運営連絡会については、冒頭の案内どおり、年2回の開催を予定している。次回の会議は、12月を予定している。各委員には、後日事務局から連絡させていただく。

## 6 閉会

(部会長)

以上をもって、令和6年度練馬区災害医療運営連絡会・第1回専門部会を終了とする。